



この指新聞

メールアドレス

この指とまれHP



《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2

TEL・FAX 042-564-3110

《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 TEL: 042-564-2883 / FAX: 042-564-2873

《グループホームりずむ・りずむショートステイ》

ご報告と今後の事業について

理事長 鈴木真千子

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。

平成8年(1996年)4月「この指とまれ」と有志が集まってから、来年4月で満30年になります。

平成27年(2015年)2月社会福祉法人となるまでに、放課後の居場所として「放課後等デイサービス事業」、支援のすきまを埋める「ホームヘルプ事業」(平成30年6月廃止)、卒業後の住まいとして「グループホーム事業」「ショートステイ事業」、支援が必要な方々の福祉サービスを計画する「相談支援事業」を開設しました。振り返りますと、福祉制度と現場のギャップや、基準や要件の厳しさ等、利用者の方々の取り巻く環境の変化や新たなニーズに対応して参りました。

今後も困難なことがあるかと思いますが、利用者の方々に喜んで頂けるよう、取り組んで参ります。又、職員にとっても支援を通してのやりがいや励みとなり、学びを深めて行ける働き方を目指します。

令和6年度は法人事業を見直し事業改革をし、経営改善を図りました。

- ・法人の中心的事業で発足時からの放課後等デイサービス事業「デイグループほっと」を廃止、「デイグループぱーく」に統合しました。
- ・「グループホームりずむ」は以前から男女別のユニット構想があり、廃止した「デイグループほっと」の活動スペース(1階)を女子3名の部屋に改装し、2階を男子6名の部屋とする事が出来ました。

令和7年度は、運営の見直しや経費節減に取り組みました。

- ・**放課後等デイサービス**では、欠員がある場合、積極的に呼びかけ利用促進に努めました。職員の勤務体制も見直しました。今年の夏も猛暑による欠席もあり、経営的にはまだまだ大変です。そのような中で、何とか支援の質を落とさず「安心できる場所」を提供するよう努めています。

放課後等デイサービス事業の制度面では引き続き「夏休み等長期休暇時の体制が確保出来ない」「学校を卒業すると夕方の居場所がなくなる」ことから、保護者の就労が守れない点が問題です。放課後等デイサービスの主な目的は「療育」です。しかし、保護者の就労を守るのも大切な役割です。誰もが安心して暮らせる制度改定を心から望みます。

- ・**グループホーム**は定員が増え、ショート利用の方も多く、利用者の方々の障害程度区分も様々、通勤先、特性も異なる利用者の方々がいつでも安心して話ができるよう柔軟な対応ができる職員の勤務体制の整備に努めていますが、報酬が上がらず経営面も運営面も、ぎりぎりの体制で頑張っています。充実した支援を可能にする経済的支えを望みます。
- ・**本部事務**は顧問労務士に委託していた業務の一部を、ソフトを活用し法人内で実施等、工夫と努力を重ねました。

報酬が減っている中、皆様からのご寄附を今年も沢山いただきました。運営費に充てられる貴重なご寄附です。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。大切にに使わせていただきます。

最後に、「この指とまれ」が発足してからずっと経済的にも精神的にも支えてくださっていたNPO法人リサイクルショップらら」が解散しました。長い間本当に本当に有り難うございました。

共同生活援助事業・短期入所事業

🏠グループホームりずむ・りずむショートステイ🏠

昨年7月1日より男性3名の利用者の方が入居し9名となってあっという間に1年が過ぎてしまいました。今年11月よりまた新しい利用者さんが入れ替わりにて入所され、新生活をスタートさせております。今年は余暇活動にて外出が沢山出来ました。

【3月】劇団四季のアラジン鑑賞：歌・踊り・笑いありまた舞台セットの豪華さを体感して皆、感動と元気をもらってきました。電車移動時は利用者さんの方が路線に詳しく、職員が間違えると「そっちじゃないよ」と言われてどちらが支援者かわかりませんでした。

【9月】墨田区の本所防災館に行く：防災体験コースにて水害では50ミリの豪雨と30メートルの暴風、地震では関東大震災の震度7、煙体験を一人の脱落者も出さずに体験できました。職員の方の説明を熱心に聞き災害の怖さを学べて良い経験ができました。



【10月】貸し切り電車「ひまわり号」に乗って夢の島熱帯植物園と第五福竜丸の展示を観賞。貸し切り電車を満喫して普段できないような飾り付けをしたり、歌ったり、踊ったり。他の人が乗ってこられない優越感を味わったりしました。ボランティアや他のグループの方々との交流もみんなは新鮮だったようです。帰り道にて早くも今度は泊まりでディズニーに行きたい！とリクエストがありました。りずむでは利用者の方の人間性を尊重し安心して生活できるように努めてまいります。又、余暇活動、個人の趣味も楽しめるよう支援いたします。



(渡部有治)

指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

相談支援にし

主に東大和市在住の方にご利用いただいております。初回の面談は、相談員が揃う、火・木曜日をお願いしております。現在の契約者数は児童39名、成人39名、計78名で、幼児期から高齢期の幅広い年齢の方々を支援させていただいております。

「地域の中でご本人やご家族が希望される生活を安心して送っていただけるように」との思いで、福祉サービスや地域資源に関する情報提供、ご提案、計画作成、モニタリングなどを行っております。希望される生活は年月とともに変化していくので、その時々状況・ご希望に合う支援の種類や日数の変更、適切な事業所選びなどが求められます。

常に関係機関と連携し、丁寧に話し合いをしながら進めています。(前橋美保)

利用申し込み受付中です！
見学も可能です◎
お気軽にお問合せください

放課後等デイサービス事業 デイグループぱーく



今年も毎日の活動の中で、いろいろな思い出を作ることができました。笑顔で仲良く遊んだり、時にはもめたりしても、お互いを認め合いながら個人の成長につながった様子も見られ、嬉しく思う場面もありました。毎月の療育活動（音楽、創作、動き）では、子供たちの隠れた才能を発見でき、夏休みには恒例の外出で、普段できない体験をたくさんしてきました。また、プール遊びでは、ゆったり浸かる子やバシャバシャしたい子など、皆楽しみ方もさまざまでも好評でした。準備や片付けまで手伝ってくれる子供たちもいて、助かりました。

（株）ニチレイさんによる出張授業では、エビと鶏肉について学び、エビの殻向き、背わたとりを体験し、焼き鳥とエビ焼きにして試食もでき、満足そうな子供たちでした。命の大切さを学ぶ機会を持って、楽しく

有意義な時間となりました。今後も、機会があったら、いろいろな体験が
できらいいなと思っています。

毎日の活動の中で、子供たちの笑顔を糧に、
スタッフ間で情報共有を大事にし、子供たち
一人一人の個性を大切に、支援していきたいと
思っています。

今後ともどうぞよろしく申し上げます。（木原則子）



会の行事

「この指とまれ」では、法人全体の恒例行事として「成人と卒業を祝う会」を毎年3月に開催しております。昨年度は令和7年3月29日（土）に行いました。20歳を迎えられる方々と、小・中・高校を卒業される皆さまをお祝いする温かな会です。成人を迎える方々は、卒業されてから2年経ち卒業後どのような生活をしていらっしゃるか伺う事も出来、放課後等デイサービスに通っている方々にとって、将来の見通しをもてる場になっていると思いますし、私たちスタッフ



にとっても、大変嬉しい事です。

例年は中央公民館で開催していましたが、今年度は諸事情から令和8年3月14日に「デイグループぱーく」で行います。放課後等デイサービス在籍者、卒業生、グループホームりずむ関係者など誰でも参加する事が出来ますので、どうぞおいで下さい。みんなでお祝いしたいと思います。（鈴木真千子、大谷宏美）



♪個別音楽療法♪

賛助団体「リサイクルショップらら」の支援を受け、土曜日の午後に行っています。現在は、4名（卒業生）の方々が個別音楽療法に参加されています。担当スタッフは、2人です。スタッフの予定と利用者の予定が合う時に実施しているので、回数が減ってしまいました。

セッション回数は減ってしまいましたが、一人一人の実態や目標に合ったプログラムの中で、のびのびと自分を表現出来る場として、楽しみにしてくれています。

回数が少なかったため、「らら」からの援助金がまだ残っています。残っている間は、毎月
は出来なくても、大切な場として行っていきたいと思っています。（鈴木真千子）



特定非営利活動法人リサイクルショップらら

私たちの活動は、寄附された提供品の衣類等をボランティアの手で販売し、利益を「社会福祉法人この指とまれ」に寄附し、その活動を支え、また資源再生活動の一環を担ってまいりましたが、諸般の事情により、令和6年12月20日（金）をもちまして閉店しました。

また、令和7年3月19日（水）に開催されました総会の決議により解散が承認され、清算に必要な事務手続きを進めて、令和7年6月16日に管轄する法務局において「清算終了登記」が完了しました。

これにより、当法人は令和7年6月16日に閉鎖致しました。

改めまして、長い間ご支援をいただきありがとうございました。

これからも「この指とまれ」へのご支援をお願い致します。

特定非営利活動法人リサイクルショップらら スタッフ一同



●福祉祭●

今まで長い間、「リサイクルショップらら」の全面的協力の元、福祉祭に参加してきました。「らら」が解散した今、「この指とまれ」として参加を改めて考えてみましたが、「この指とまれ」の事業、放課後等デイサービスとグループホームは、福祉祭参加を作業日として代休を設ける事も出来ず、「リサイクルショップらら」の援助なしの物品販売の参加も難しく、「この指とまれ」としての参加を見合わせました。福祉祭で会えると言って下さる卒業生や関係者の方々との接点がなくなるのは残念ですが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ご寄附のお願い

当法人は、障害児を育てる親たちと、サポートしてきたボランティアスタッフが「この指とまれ」と集まり発足して以来、色々な障害、幅広い年齢を対象とすることを法人の長所としており、放課後等デイサービス事業、共同生活援助事業、短期入所事業、指定特定・障害児相談支援の4事業を運営しています。

福祉事業の報酬改定による減収は令和6年4月改定も続き、コロナ禍での利用人数の減少による大幅な収入減、物価高騰による影響を受けながらもサービスの維持に努めることは簡単ではなく、経営は非常に厳しい状況です。当法人の理念に基づき、必要不可欠なサービスを提供し続けるために、何卒、趣旨をご理解いただき、多くの皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。頂いた寄附金は、より一層の充実した事業運営のための貴重な財源として、大切に活用させていただきます。また、「税額控除対象法人」として、「税額控除に係る証明書」の交付が出来ます。確定申告にご活用いただけます。

ご寄附の方法

- 「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、当法人本部までご提出をお願いいたします。
※銀行振込または郵便振替の場合には、郵送又はFAX（042-564-2873）でご提出ください。
※寄附申込書は当法人ホームページからダウンロードしていただくか、ご連絡をいただければ送付させていただきます。
- ご寄附の方法には次の3通りございます。
 - 現金（持参） 「社会福祉法人この指とまれ法人本部」まで、寄附申込書と一緒に持参ください。
 - 銀行振込（三井住友銀行 東大和支店）
【口座番号】普通 4263883 【口座名義】社会福祉法人この指とまれ
 - 郵便振替 【口座番号】00100-9-387225 【口座名義】社会福祉法人この指とまれ

●編集後記●

今回はこの指とまれの良さが少しでも伝わればいいな、とイラストも多めに雰囲気をも少し変えて作成してみました。お読みいただきありがとうございました。このところ経営が厳しかったのですが、法人全体で経費の見直しや、報酬アップへの様々な努力を続けた結果、今年は例年より少し上向きになり、少し安堵した一年でした。引き続き、続けていきたいと思っております。年末年始で、何かと忙しい時期かと思いますが、皆さまどうぞお身体にお気を付けてお過ごしください。（柳つぐみ）

皆さま、今年も
ありがとうございました！

